

タイトル：汐製菓会社の新作のポ
テチ

登場人物

汐（しお）

30代、汐製菓会社社長。モットーは「面白きことも無き世を面白く」。常に奇抜で独創的な菓子を開発することに情熱を注ぐ。明るく快活で、エネルギッシュな性格。

塩田（しおだ）

30代、汐の秘書。真面目で心配性だが、実は大の菓子好き。汐の奇抜なアイデアに振り回されるが、それでも新商品に期待を抱いている。製菓会社で働くことを夢見ていた。

シーン：新商品のアイデア会議

（オフィス。汐がデスクに座り、熱心に何かを考えている。塩田が資料を持って入ってくる。）

塩田

（心配そうに）社長、何かお考えですか？また新しい商品をも？

汐

（自信満々に）ああ、塩田。今回はとびっきりのアイデアがあるんだ！次のヒット商品は『ポテトチップス』だ！

塩田

（驚いて）ポテトチップスですか？それはもう市場にたくさんありますが…何か特別な工夫でも？

汐

（にっこり笑って）もちろんだとも！ただのポテトチップスじゃない。『抹茶味』と『ほうじ茶味』のポテチだ！

塩田

（目を見開いて）抹茶…ほうじ茶…ポテトチツ
プスですか？それはちよつと…奇抜すぎません
か？

汐

（胸を張って）奇抜だからこそ面白い！「面白
きことも無き世を面白く」、だろう？世界
が驚くポテチを作るんだ！

塩田

（ため息をつきつつも、内心はワクワクしてい
る）でも、これをどうやって売り込むかが問題
ですね…社長、今回は大丈夫でしょうか？

汐

（ニヤリと笑って）安心しろ、塩田。これまでだ
って、なんとかなってきただろう？

シーン② 商品開発室での試作

（汐と塩田が、商品開発室に入る。研究員たちが新しいフレーバーを試作している。）

汐

（楽しげに）さあ、みんな！今日から新しいプロジェクトだ。抹茶味とほうじ茶味のポテトチップスを開発するぞ！

研究員 ♫

（戸惑いながら）抹茶…ポテトチップスですか？

研究員 ♪

（苦笑しつつ）ほうじ茶の方がまだポテチに合いそうですが…。

塩田

（やや不安げに）社長、味のバランスが心配です。ポテトとお茶の相性って…。

汐

（自信満々に）いいかい？予想外の組み合わせ

せが新たな美味しさを生むんだよ！まずは試作してみようじゃないか！

（研究員たちが頷き、抹茶味とほうじ茶味の試作に取りかかる。）

研究員の

（ポテトチップスに抹茶パウダーを振りかける）これで…いいんでしょうか…。

塩田

（興味津々で試作品を眺める）ええ、でも…見た目はなかなかですね。味見してみても？

汐

（満面の笑みで）もちろんだとも！どんどん試してくれ！

（全員が試作品を試食する。塩田が緊張しながら一口食べる。）

塩田

（驚いた顔をする）意外と…美味しい…？
これは、もしかしていけるかもしれません！

汐

（勝ち誇ったように）そうだろう！やっぱり俺
の直感は間違ってたな！

研究員 ♪

（興奮して）抹茶のほろ苦さとポテトの塩気が
絶妙にマッチしていますね！

研究員 ☐

（感心して）ほうじ茶も独特の香ばしさがあ
って、新しい味覚体験です！

塩田

（不安が解消され、笑顔になる）社長…本
当にこれ、成功しそうです！私も応援します！

汐

(大きく頷いて)よし、これで決まりだ！今すぐ製造ラインに乗せよう！

シーン③: 国内外の反応

(時間が経ち、汐製菓の抹茶味とほうじ茶味のポテトチップスが市場に出回る。テレビやネット上で話題になる。)

ナレーション

(興奮気味に)ついに発売された汐製菓の新作ポテトチップス！抹茶味とほうじ茶味が国内外で大反響を巻き起こしています！

(テレビのニュースキャスターが商品の話題を取り上げる。)

ニュースキャスター

(映像に映るポテトチップスの袋を指差して)この新しいポテトチップス、皆さんも試されま

したか？意外にも、その独特な味わいが大人気なんです！

海外リポーター

（街頭インタビューで外国人に質問）それでは、この新しいフレーバーのポテトチップスについてどう思いますか？

外国人ー

（驚いた表情で）今まで食べたことがない味だ！抹茶味は意外にも美味しい！

外国人〜

（興奮して）ほうじ茶チップス？誰がこんなに美味しいものを思いついたんだ！もっと買うよ！

塩田

（オフィスでテレビを見ながら感動して）社長…こんなに多くの人に喜ばれるなんて…。すごいです！

汐

(満足げに)だから言っただろう?「面白き」とも無き世を面白く」ってさ…

シーン④ 汐製菓の次なる挑戦

(汐と塩田がオフィスでくつろいでいる。テレビでポテトチップスの売れ行きを確認している。)

塩田

(少し疲れた表情で)でも、これで少しは落ち着けますね…あんなにヒットするとは…。

汐

(ニヤリと笑って)次はどうするかな…この成功に甘んじるわけにはいかない!

塩田

(驚いて)もう次のことを考えているんですか?少し休んでもいいのでは…。

汐

（目を輝かせて）休むなんて時間がもったいな
いさ！今度は…『抹茶とほうじ茶のハイブリッ
ド味』ってのはどうだろう？

塩田

（頭を抱えて）社長…またそんな奇抜なこと
を…。

（汐が笑いながら新たなアイデアを語り、塩
田が困り顔で付き合う。二人のやり取りが
続く中、画面はフェードアウトする。）

エンドクレジット

（コミカルな音楽が流れ、キャストとスタッフの
名前が流れる。）

終幕

エピローグ

（エンディング後、場面が切り替わり、汐が新商品のアイデアをノートに書き込んでいる。塩田がそっと覗き込む。）

塩田

（ため息をつきつつも、微笑んで）次はどんな味になるのかしら…。

汐

（微笑んで）楽しみにしておけ、塩田。俺たちはまだまだ面白いことを作り出せるさ！

塩田

（元気を取り戻して）はい、社長！次も頑張りますよー！

（場面が暗転し、タイトルが再度表示されて
物語が終了する。）

終わり